

「大阪市の松井市長が、今度は大阪市を総合区に合区したいとの発言をされていますが？」

令和2年11月11日

●まあい君ちゃんさんからの質問

大阪市の松井市長が、今度は、大阪市を総合区に合区したいとの発言をされています。大阪都であれ、総合区であれ、一定の民意は示され結論は出ているかと思えます。関西の地盤沈下を修正し、活性化するために都構想や総合区が、わざわざ必要なのか疑問です。西田先生のお考えをお聞かせください。

●西田昌司の答え

先日の大阪都構想の住民投票の否決に際して、松井さんは、今の市長の任期を全うしたら引退すると発言しました。国会議員になることもなければ、大阪都構想を問うこともしない、との潔さを示したかに思えましたし、吉村大阪府知事も同様の発言をされていたので、大阪都構想話が再燃することはもう流石にないだろう、とっていました。しかし、舌の根の乾かぬうちに話を蒸し返す彼らにはほとんど呆れてしまいます。

莫大な選挙費用をかけて大阪市民に大阪都構想を問い、その結果、否決されたのです。しかも、今回は二度目でありまして、本来であれば5年前に否決された時点で話を終えなければなりません。一事不再議は民主主義のルールですし、まして5年前よりも反対の割合が増えているのですから、この状況下で蒸し返すのは完全なる民主主義の否定でありますし、何よりも大阪市民を舐めています。

大阪都構想のはじまりは、橋下さんが大阪府知事になった頃まで遡りま

す。政令指定都市である大阪市には大きな権限があり、大阪府知事である橋下さんであっても大阪市を思うように動かすことはできませんでした。このことに腹を立てた橋下さんは、大阪府知事を辞めて大阪市長となり、盟友の松井さんが大阪府知事になりました。こうやって万全の体制で臨んだ5年前の住民投票でしたが、僅差で否決されたのです。

これ以上蒸し返すとなると、大阪市民は救われませんし、何よりも松井さんらは信用を失って自らを貶める結果にしかありません。今からでも遅くないですからどうかもう一度考え直してください、と彼らに忠告いたします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>